

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年5月6日
【四半期会計期間】	第60期第3四半期（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）
【会社名】	全日本空輸株式会社
【英訳名】	ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊東 信一郎
【本店の所在の場所】	東京都港区東新橋一丁目5番2号
【電話番号】	03（6735）1001
【事務連絡者氏名】	総務部長 丹治 康夫
【最寄りの連絡場所】	東京都港区東新橋一丁目5番2号
【電話番号】	03（6735）1001
【事務連絡者氏名】	総務部長 丹治 康夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成22年2月9日に提出した第60期第3四半期（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）の四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

1 生産及び販売の状況

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

3【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

1【生産及び販売の状況】

(訂正前)

(2) 事業セグメント別取扱実績

① 航空運送事業

イ. 輸送実績

当第3四半期連結会計期間の輸送実績は次のとおりである。

項 目	対象期間	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
国内線		(省略)	
貨物輸送重量 (トン)		130,871	<u>122,993</u>
貨物トンキロ (千トンキロ)		127,642	<u>121,379</u>
		(省略)	

(訂正後)

(2) 事業セグメント別取扱実績

① 航空運送事業

イ. 輸送実績

当第3四半期連結会計期間の輸送実績は次のとおりである。

項 目	対象期間	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
国内線		(省略)	
貨物輸送重量 (トン)		130,871	<u>123,053</u>
貨物トンキロ (千トンキロ)		127,642	<u>121,409</u>
		(省略)	

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(1) 業績の状況

(省略)

◎航空運送事業

<貨物>

国内線貨物については、前年度下半期以降の景気低迷に伴う機材小型化によって生産量減となる中、一般混載貨物の需要が低調に推移したこと等により、輸送重量は前年同期を下回った。

以上の結果、当第3四半期の国内線貨物輸送重量は12万2千トン（前年同期比94.0%）、収入は85億円（前年同期比93.9%）となった。国内線郵便輸送重量は8千トン（前年同期比90.6%）、収入は9億円（前年同期比94.5%）となった。

(省略)

(訂正後)

(1) 業績の状況

(省略)

◎航空運送事業

<貨物>

国内線貨物については、前年度下半期以降の景気低迷に伴う機材小型化によって生産量減となる中、一般混載貨物の需要が低調に推移したこと等により、輸送重量は前年同期を下回った。

以上の結果、当第3四半期の国内線貨物輸送重量は12万3千トン（前年同期比94.0%）、収入は85億円（前年同期比93.9%）となった。国内線郵便輸送重量は8千トン（前年同期比90.6%）、収入は9億円（前年同期比94.5%）となった。

(省略)